

日本語指導の手引き②

-初期適応時の日本語指導と教材-

三重県教育委員会

はじめに

平成 20 年 9 月 1 日現在、県内の公立小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒の数は 1,486 人であり、前年度より 183 人増加しました。また、日本語指導が必要な外国人児童生徒が在籍する学校数は 183 校となり、前年度より 16 校増加し、広がりも見られます。このような状況のもと、各学校においては、日本語で学ぶ力を身につけるための指導や学校生活に適應するための指導に加え、個々の発達段階や文化のちがいに配慮した効果的な指導の工夫が必要になってきています。

県教育委員会では、昨年度から、受け入れ時から日本語による学習言語の習得までを見通した指導が各学校で効果的に行われるよう、県内で広く使用されている日本語指導教材「みえこさんのにほんご」等をもとに、教師向けの日本語指導の手引きを 4 期に分けて作成しています。

昨年度は、「日本語指導の手引き①－受け入れにあたって－」を作成し、各学校に配付しました。県教育委員会主催の外国人児童生徒教育担当者会議においても、この手引きをもとに研修を深め、各学校の受入体制等のさらなる充実をはかっているところです。

本年度については、第 2 期「初期適應時の日本語指導と教材」として、初期適應時の日本語指導を進めるにあたっての必要な取組や配慮事項、日常的に使う話し言葉の指導とひらがな・カタカナの指導について取りあげました。特に、日本語指導を必要とする外国人児童生徒への取り出し指導や個別指導に役立つ手引きとして、有効な教材を精選しました。

受け入れる子どもの実態に応じて本手引きを活用いただくとともに、県内のどの学校においても日本語指導が必要な子どもを受け入れ、多文化共生の視点に立ち、効果的な日本語指導が実践できるよう、本手引きを研修や実践交流会の場でも積極的に活用いただきたいと考えています。

平成 21 年 3 月
三重県教育委員会

目 次

はじめに

1	初期適応時の日本語指導を進めるにあたって	
○	必要な取組や配慮	1
○	初期適応時の日本語指導	
・	日常的に使う話し言葉の指導	2
・	ひらがな・カタカナの指導	4
2	初期適応時の日本語指導の教材と資料	
(1)	日本語指導のための単語・会話集	5
○	発音表記について	6
○	曜日・時・月・季節	7
○	数	9
○	あいさつ	1 1
○	授業で	1 5
○	給食の時間	4 8
○	朝の会・帰りの会	5 1
○	保健室で	5 2
○	非常時に関すること	5 9
○	家庭への連絡	6 1
○	学校を休むとき	6 3
○	1年間の行事	6 5
○	単語集	6 7
○	その他	7 0
(2)	マス目・書き順入りかな練習プリント*1	
○	ひらがな練習用プリント	7 3
○	カタカナ練習用プリント	7 5
(3)	新版「みえこさんのにほんご」*2	
○	あいさつ	7 7
○	もののなまえ	7 9
○	月日のことば	8 0
○	ときのことば	8 1
○	すうじ①②	8 2
○	かずのことば	8 4
(4)	新版「みえこさんのにほんご」れんしゅうちょう1*3	
○	よみましよう	8 5
○	おぼえましよう	8 6
○	やってみましよう	8 7
○	かたかなでかきましよう	8 8
(5)	「日本語指導カリキュラム」「日本語のあゆみ(評価表)」(ポルトガル語用)*4	
		8 9

*1 四日市市初期適応指導教室「いずみ」が作成し、四日市市教育委員会ホームページに掲載されています。

ホームページアドレス (<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/kyouiku/>)

*2・3 財団法人三重県国際交流財団が作成し、三重県教育委員会ホームページに掲載されています。

ホームページアドレス (<http://www.pref.mie.jp/KYOIKU/HP/index.shtm>)

*4 四日市市初期適応指導教室「いずみ」が新版「みえこさんのにほんご」を基に作成した資料です。